

International Advanced Mobility Forum 2009 出張報告書

作成日：2009-03/20
文責：構造工学研究室
2008年度当ゼミ大学院2回生
神名 孝紀

学会詳細

学会名：International Advanced Mobility Forum 2009
開催時期：10th-12th March 2009
開催場所：Geneva Palexpo, Geneva, Swiss Confederation
研究題目：Belt penetration and local slip in the pulley groove for metal V-belt CVT
(Continuously Variable Transmission) at steady state
発表者：Takanori KANNA
連名者：Kazuya OKUBO, Toru FUJII, Hideaki YOSHIDA and Toru YAGASAKI
発表形式：Oral (Presentation : 15 minutes, Discussion : 5 minutes)
学会HP：<http://www.iamf.ch/en/>

私は2009年3月10日～12日にスイス連邦ジュネーブで開催されたIAMF 2009という学会に参加しました。英語圏の企業の方や大学の教授の方々と研究発表を聴講すると共に、私自身も、定常伝導条件下での金属VベルトCVTのプーリ溝中におけるベルトの半径方向落込みと断続滑りに関する研究内容を発表させていただきました。

私にとって初めての海外での英語スピーチでしたが、言葉に詰まることなく口頭発表を終えることができました。口頭発表後の質疑では、ベルト/プーリ間での滑りが効率にどの程度影響を与えるのかなどの質問を受けました。私は英語があまり得意ではないので、事前に準備していた資料を使いつつ質問の回答を行うことでその場を切り抜けることができました。質疑応答時間の後も数名から個別に質問を受け、本研究が世界的にも注目されていることを実感しました。

学会と同時開催されていたジュネーブモーターショーも見学することができ、最新の自動車技術を肌で感じることができました。また、学会終了後はスイス連邦を横断しました。その過程で多くの方と異文化交流をすることができ、かけがえのない体験となりました。

最後になりましたが、このような素晴らしい経験を与えて頂いた同志社大学をはじめ、藤井先生、大窪先生及び当研究室関係者の皆様に深く感謝致します。

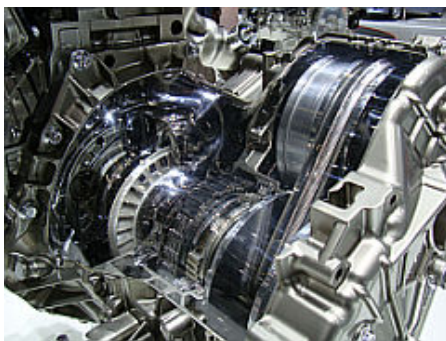
以下、写真に続く



学会会場の様子



休憩中の様子



CVTの展示品



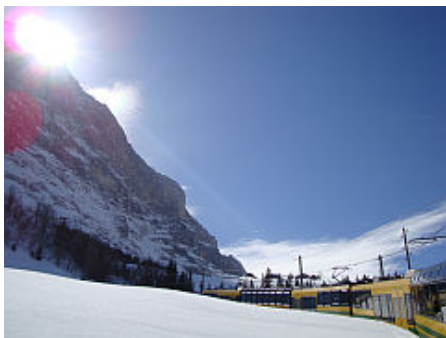
モーターショーの様子



モーターショーを彩る方々



ジュネーブのジェット噴水



アルプスの車窓から



Jungfrauoch (標高 3454m)

以上